

第8期川崎市スポーツ推進審議会 第4回会議 摘録

日 時：令和7年5月26日（月） 18：30～19：55

場 所：川崎市役所 本庁舎1階101会議室

出席者：齋藤 実（会長）、菊地 正（副会長）、飯田 路佳、松澤 淳子、増山 雅久
山川 佳美、齋藤 昭之、室谷 龍子、北野 隆生、渡部 修治、坂本 竜一
田代 さとみ、中島 賢志（敬称略）

欠席者：大橋 博樹、後藤 建人（敬称略）

事務局：市民文化局市民スポーツ室

中根室長、荻田担当課長、磯崎担当課長、白石担当課長、石床担当課長、
高橋担当課長、水溜担当係長、高良職員

議事説明員：教育委員会事務局健康教育課 小竹課長

傍聴者：1名

●会議次第

1 開会

2 議事

(1) 令和7年度スポーツ事業計画について

(2) その他

- ・水泳授業の民間活力の更なる活用に向けて
- ・中学校地域部活動推進事業支援業務の進捗状況について
- ・IJRU 世界選手権（ジャンプロープの世界大会）の開催と大会開催に関連して実施する主な取組について

3 閉会

● 審議会第4回会議議事録

<p>水溜係長</p>	<p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただいまから第8期川崎市スポーツ推進審議会第4回会議を開催いたします。</p> <p>まず、今年度の事務局及び議事説明員を紹介いたします。 お手元の名簿も併せて御参照ください。</p> <p>事務局：市民スポーツ室 ※名前の読上げ⇒立ち上がり礼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ室長 中根（ナカネ） ・企画調整担当課長 荻田（オギタ） ・スポーツのまちづくり担当課長 磯崎（イソザキ） ・スポーツ事業推進担当課長 白石（シライシ） ・若者文化推進担当課長 石床（イシトコ） ・新アリーナ整備担当課長 高橋（タカハシ） ・企画調整 水溜、高良（ミズタマリ、タカラ） <p>議事説明員 ※名前の読上げ⇒立ち上がり礼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局学校教育部健康教育課課長 小竹（コタケ） <p>それでは、はじめに川崎市から御挨拶を申し上げます。 中根室長、よろしく申し上げます。</p>
<p>中根室長</p>	<p>改めまして皆様こんばんは。本日はお忙しい中御出席いただきましてありがとうございます。初めましての方もいらっしゃいますが、半分以上の方がお久しぶりでございます。初めましての方に少しでも自己紹介させていただきますと、私は2年前まで企画調整担当課長の席に座っておりまして、3年間審議会の担当をさせていただいており、2年ぶりに戻ってきたところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>振り返ってみますと、5年前初めて審議会に参加させていただいたのが令和2年でございます。まさにコロナが騒ぎになっていた時期で、スポーツはもとより世間が停滞していた時期でございます。それに合わせて、今御紹介にあったそれぞれの担当がもっているイベントもことごとくなくなって1年間終わってしまったという年でした。あれから5年が経ちまして、今地域や色々なところでの活動が戻ってきたところも多いですし、コロナを機に変わってしまったものや状況が変わったというものも多々あると思います。</p>

	<p>いずれにしても、また皆様にはお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(終了後) ありがとうございます。</p> <p>次に、委員に変更がございましたので御紹介いたします。</p> <p>川崎市中学校体育連盟から御推薦いただいている委員でございますが、高村委員に代わり、令和5年度まで当審議会の委員でいらっしゃいました後藤委員に再び御出席いただけることになりました。本日は所用により欠席の連絡をいただいております。</p> <p>なお、大橋委員から御欠席の連絡をいただいております。</p> <p>また、坂本委員からは遅れる旨ご連絡いただいております。</p> <p>本日の審議会でございますが、委員の過半数の13名が出席しておりますので、「川崎市スポーツ推進審議会条例施行規則」の第4条第2項の規定により、審議会の開催要件は満たしていることを御報告申し上げます。</p> <p>また、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第5条第1項により、本日の議事は公開となっております。</p> <p>なお、本日、傍聴のお申し出がありました。</p> <p>本日は、1名の方から傍聴の申し出がございますので、傍聴の方の入室を認めてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p>
水溜係長	<p>それでは、傍聴の方に入室させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">＜傍聴者入室＞</p>
水溜係長	<p>また、議事録につきましては、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則」第5条の規定に基づいて作成することとされております。</p> <p>本審議会の議事録につきましては、発言者の名前を記載した形で、また、要約方式にて作成することとし、事務局にて案を作成したのち、委員全員のご確認をいただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p>

	伺いましたところ、近県からお越しいただいた方もいましたが、北海道からお越しいただいた方もいました。それくらいレッドウェーブの知名度が全国的に広がっているというような状況で、それが川崎市にあるということが浸透してきているのかなというところを感じることができました。
齋藤会長	こういった報告会の告知はどのようにしているのでしょうか。
磯崎課長	報道発表をさせていただいています。試合の勝ち負けによっても状況が変わってしまうため、報道発表を中心に告知していますが、市の庁内関係課に依頼してXなどのSNSでの発信やチームからも情報を公開してもらいました。
松澤委員	資料2ページの企業内スポーツ施設の一般利用事業について、身近なところで施設が使えればいいな、増やしていけたらいいなと思いますが、今開放していただいている施設の利用状況と、これから他の企業への働きかけはあるのでしょうか。
荻田課長	令和6年度の利用実績については現在取りまとめているところですが、令和5年度の利用は少ない状況でした。利用するには事前の申込みや、団体登録が必要であること、利用条件も企業と調整した方法で行っているため、少しハードルが高くなっているのかなと思います。近隣の方にとっては利用しやすいかとは思いますが、それ以外の方については難しいような状況です。新規の施設については、学校や企業に営業はしたのですが、締結までは至らず増えていないという状況です。
齋藤会長	専修大学の総合体育館プールについては、辿り着くまでが大変で地の利があまり良くないというのがあります。学校内で話していましたが、貸し出されていることを教職員でも知られておらず、その辺りがうまく伝わっていないところもあるなと感じています。私ももっと使ってもらえたらと思っていますが、大学側での貸出しのシステムを積極的に作ってはなく、誰に対しても使い勝手が良い形にはしていないというのもあるかと思います。そのあたりをもう少し市とも連携しながら使い勝手が良い、皆さんに届くようなものができるといいと思いました。
増山委員	事業の対象が一般の市民に限定していて、高齢者がいないように感じました。私は川崎区で川崎区企業市民交流事業推進委員会もやっていますが、富士見公園が整備されたので、ウォーキングイベントなどをやろうかという話もできています。公園の整備がされているので、そこを上手く使って、高齢者を対象にし

	<p>たウォーキングイベントとかを新しく考えてもいいのではないかと思います。</p> <p>私はスマホで何歩歩いたか見たりするので、歩いた分だけ何かもらえたりするなど、それに対して協賛を募ったりしてもいいと思いました。今は、学校に寄附することしかできないので、自分に御褒美があってもいいのではないかと思います。</p> <p>中根室長 今回の資料の作り方だとそのあたりが見えませんが、いくつか出てきています。市民スポーツ室で実施しているボッチャ大会など、高齢者限定というよりは高齢者にも参加していただけるというイベントがあります。また、建設緑政局では公園遊具を整備するということで健康遊具を置くなど、高齢者の方にフォーカスしているわけではないですが、各所で高齢者向けの取組は行っています。そういうところも今後御紹介できればと思っています。</p> <p>齋藤会長 ハード面では公園整備が整ってきていますので、高齢者が使えるようなソフト面が充実するといいですね。</p> <p>中根室長 先月もパークゴルフ市長杯が開催され市でも後援もさせていただいていますが、パークゴルフが「ねんりんピック」の種目になっていた時は、100人近くの高齢者の方が元気に参加されていました。市としてそういった支援も引き続きさせていただければと思っています。</p> <p>飯田委員 今のお話に付随してですが、各区で行っているイベントでは年齢層は把握されていますでしょうか。隠れてしまっているものが見える方が、高齢者の方も自分も参加してよいという思いを持っていただけて、参加を促すことになるかと思いました。</p> <p>また、若い時からずっとやってきた方が参加しやすく、繋がりがあまりない方については、参加は難しいと思います。スポーツに限定せずその他の要素を呼び水というか、スポーツだけと考えるのではなく包括的に発想していくという考え方を持っている、これまで参加しなかった方や運動していなかった方への入り口になっていくのかなと思いました。</p> <p>中根室長 本日はスポーツを切り口にこういったことをやっていますという御報告をしていますが、飯田委員がおっしゃっていただいたことは市が進めております地域包括ケアシステム、市長の言葉で言わせていただくと地域を作り変えるということだと思います。また、各区にソーシャルデザインセンターというものを設置して、色々な取組を進めていく中でスポーツを一つの入口にしてという</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

齋藤会長	<p>事例もあります。</p> <p>子どもはスポーツの一端を担っているという形ですが、イベントをやった後は効果がどうだったかの事業評価やどういう人に響いた響かなかったということは普段から問われていることですので、そういったこともまだまだ途上ではございますが、意識して事業展開していきないう風に思います。</p> <p>ありがとうございます。それでは、他に御意見、御質問がございませんので、次の議題に移りたいと思います。</p>
齋藤会長	<p>(2) その他</p> <p>続いて、議事(2)「その他」について、議事説明員の健康教育課小竹課長から情報提供がございます。</p>
小竹課長	<p>水泳授業の民間活力の更なる活用について、資料2-1に基づき説明</p>
中学校地域部活動推進事業支援業務の進捗状況について資料を用いず説明	
齋藤会長	<p>ただいまの情報提供について、御意見・御質問等ありますでしょうか。</p>
飯田委員	<p>地域移行という言葉ではなく、地域展開という言葉に変わったということ</p>
聞いたのですが、その違いはありますでしょうか。	
小竹課長	<p>国も色々な言葉を使っています、当初は学校部活動と地域部活動という呼び</p>
方がありました。令和4年12月に国が総合的なガイドライン作った時は、学校部活動と地域クラブ活動という言葉に変わりました。学校でやっていたことを地域に移すことを「移行」という言葉を使っていますが、今は地域「展開」という言葉が有識者会議の中で出てきています。ただ、これは有識者会議での議論の中の言葉ですので、正確に国のガイドラインで地域展開と明文化はしていません。これは、おそらく移せていない自治体が多いところもあり学校と完全に切り離せないという部分もあるので、そういう定義に変わっているところ	<p>です。国の考え方が若干変わってくるところがありますが、そこは見つつ川崎市としてのあり方もしっかりしていきたいと思っています。</p>
菊地副会長	<p>国はあくまで地域移行ということ、学校から部活動をはがして地域に移行</p>
していくのを最終的な目標としています。ただ現実的には難しいというところ	
あります。	<p>実は、今年度の4月から国が総合型地域スポーツクラブの認証制度を始め</p>
ました。国の第2期スポーツ基本計画で、登録・認証制度を実施するというのを	

	<p>謳っていて約4年前から登録制度は始まっていましたが、認証制度はできておらず、この4月から新たに始まりました。認証制度が何かというと、例えば地域移行に対するハードルがあってそれを達成したら認証を与えるというものになります。来年以降は、それが例えば介護事業や指定管理事業など、色々な事業を増やしていく予定ですが、今年度は部活動の地域移行が認証制度の要件となりました。全国で3,800ぐらいあるクラブの中で、今、登録制度で登録を行っているのは1,100ぐらいとなっています。認証制度では、部活動を地域移行することというのが条件となっているため、全国的に見てもまだ申込みは出てきていないのが現状です。それと同じように地域移行はやはり総合型地域クラブにとっては難しいところもあり、移行できないと認証制度の申請も伸びないというところではあります。</p> <p>地域移行というのは、クラブが部活動を全部担っていくということで、怪我などのリスクに対しても全てクラブが負うということです。一方、地域展開で部活動の中でクラブも一緒にやっていくという形であれば、怪我の保険に関しては国家賠償保険など、教育委員会がカバーしていくことができます。総合型地域クラブにとってはその点が大きな課題となっており、なかなか移行が進まないというのがあります。川崎市と色々協議していきまして、国は国として川崎市らしい部分も出す形で、実際には部活動をクラブがもっと応援していく、一緒にやっていくような形で進めていったらどうかというところをお話させていただいているところです。</p>
菊地副会長	資料3ページの黒枠の中について、ない場合のみ学校内にプールを整備とありますが、これはどういう意味でしょうか。
小竹課長	<p>学校に既存のプールを新しく作るということです。川崎には利便性があり東京や横浜に近い学校の方が多いため、幅広に活用できる施設を増やすための検討が進んでいます。おおよそ10分圏内というのはなかなか難しいですが、バスを使うと行けなかった場所にも行けるようになりますので、できるだけ多くのプールを使えるような取組にしていきたいと思っています。ただ、どうしても周りにない小学校もあります。そこについては、移動に時間をかけてしまうと、授業の時間やカリキュラム上の課題もありますし、全部バスでという話でもありませんので、学校内でということになっています。</p>
齋藤会長	それでは、続いて事務局から情報提供がございます。
石床課長	IJRU 世界選手権 (ジャンプロープの世界大会) の開催と大会開催に関連して実施する主な取組について、 資料2-2 に基づき説明

齋藤会長	<p>ただいまの情報提供について、御意見・御質問等ありますでしょうか。</p>
田代委員	<p>川崎で国際大会はすごいことだと思いますが、こういうイベントは終わってから知ることがよくあります。このような告知イベントを知っている人にとってはそこに行けますが、普通に電車やバスに乗って歩いている私たちにも知れることはできますでしょうか。今は高齢者もスマホで情報を得ることも多く、私もスポーツセンターやこども文化センター、小学校の掲示板、町会の掲示板とかで情報を得ることが多いです。せっかくこういうイベントがあるのに告知イベントがこれだけというのはもったいないので、川崎の多くの方々知ってもらうことが大事だと思いました。足を運ぶまでいかないにしても、こういうイベントがあったのだとかテレビでやっていたよねというのをたくさんの人に知ってもらえれば、次の大会、さらに次の大会とこういうスポーツに触れる子ども、大人も増えてくると思います。</p>
石床課長	<p>おっしゃるとおりで、現状情報が煩雑しているため、なかなかピンポイントでこれだけを届けるというのは難しい部分があります。ただ本当に知ってもらわないと意味がないというのはおっしゃるとおりです。やっていたの知らない人が大半というのはすごくもったいないと思います。</p> <p>今後、全世帯に配られる市政だより7月号で全3ページくらいの若者文化特集を組んで、その中に世界大会の記事も載せたり、川崎駅のアゼリアビジョンで映像を流したり、ラッピングをしたり、市役所通りに大会の前から旗を立てて通りをジャックしようかと考えています。もちろんスポーツセンターや公共施設にチラシを置いたりもします。予算との兼ね合いもあり、やれる限りでやりたいと思っていますが、会場に来ていただくのも席数に限りがありますので、川崎でこんなことをやっているのかとかライブ配信を見てみようとか、ちょっとでも興味を持ってもらうきっかけになるといいなと思っています。</p>
齋藤会長	<p>私も以前、剣道の世界大会でイタリアのミラノに行ったときは、デジタルサイネージが全部剣道の大会になっていて感動したことがあります。今は色々なツールがありますし、色々工夫されているかと思いますので、ぜひ知ってもらえたらと思います。</p> <p>最後に、本日の議事を通して委員の皆様から御意見・御質問等ありますでしょうか。</p> <p>それでは予定されていた議事は以上となりますので、進行を事務局にお返しします。</p>

	3 閉会
水溜係長	<p>齋藤会長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局から次回の審議会の開催について御相談申し上げます。</p> <p>今後の回議日程はスポーツ推進計画の改定状況によるところが大きいため、その点について説明させていただきたいと思います。</p>
荻田課長	<p>計画改定について説明</p>
水溜係長	<p>計画改定を延期することになれば、次回は11月頃の開催を予定しておりますが、状況によっては前倒しで調整させていただく可能性があります。</p> <p>本日御欠席の委員の方もいらっしゃいますので、次回開催日につきましては、改めて事務局から各委員へ連絡の上、調整させていただきたいと思います、よろしく願いいたします。</p> <p>本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。</p>